

ライフステージごとの支援 成人期（高校卒業後から）

基本的な考え方

高校を卒業すると生活環境が変わり、また、加齢に伴う老化や更年期障害により、身体機能が低下しやすくなります。そのため、獲得している姿勢や動作を維持・改善していくためにはどのようなことをすれば良いのかを考え、変形や拘縮の進行、筋力や持久力の低下、呼吸機能の低下等を予防するために、身体機能や生活環境にアプローチしていきます。

成人期（高校卒業後から）

今できる姿勢や動作等の身体機能を保ち、二次障害を予防することが大切な時期です。

高校卒業後はご家庭や利用している施設の生活が主となります。そのため、日常生活における活動量が変化するため、身体機能も変化しやすいです。さらに、加齢により老化や更年期障害の影響も受けやすくなるため、身体機能や運動機能の維持・改善を目標に取り組む事が大切となります。

リハビリテーションでは、関節可動域運動やストレッチを行い、呼吸介助やポジショニングにより呼吸機能が維持・改善するように促し、寝返り・四つ這い・歩行などの運動や座位・膝立ち・立位などの姿勢保持により、身体機能の維持と二次障害の予防に努めます。

また、日常生活においては、ご家族や関係職員と情報を共有し連携を図る事により、自分で行える姿勢や動作に合うように生活環境を整え、力が入りにくく楽に過ごせる姿勢、呼吸がしやすい姿勢等、一日を過ごす中での様々な姿勢を検討します。また、車椅子や座位保持装置等の補装具が合っているかを確認し、身体機能の変化に応じて修理や調整を行い、必要であれば新しく作製していきます。